

TOTO

洗面化粧台

LDCC 060・075型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1. 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

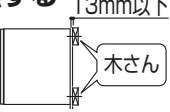
表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 **禁止**

- 浴室など湿気の多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

 **必ず実行**

- 壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。
- 電源はAC100Vを使用する
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
- 水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。



■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	--------------------	---	-----------------------

●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

 **注意**

 **禁止**

- 湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。
- 洗面ボウルにかたい物を落とさない
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 洗面ボウルに強い力や衝撃を与えない
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

 **必ず実行**

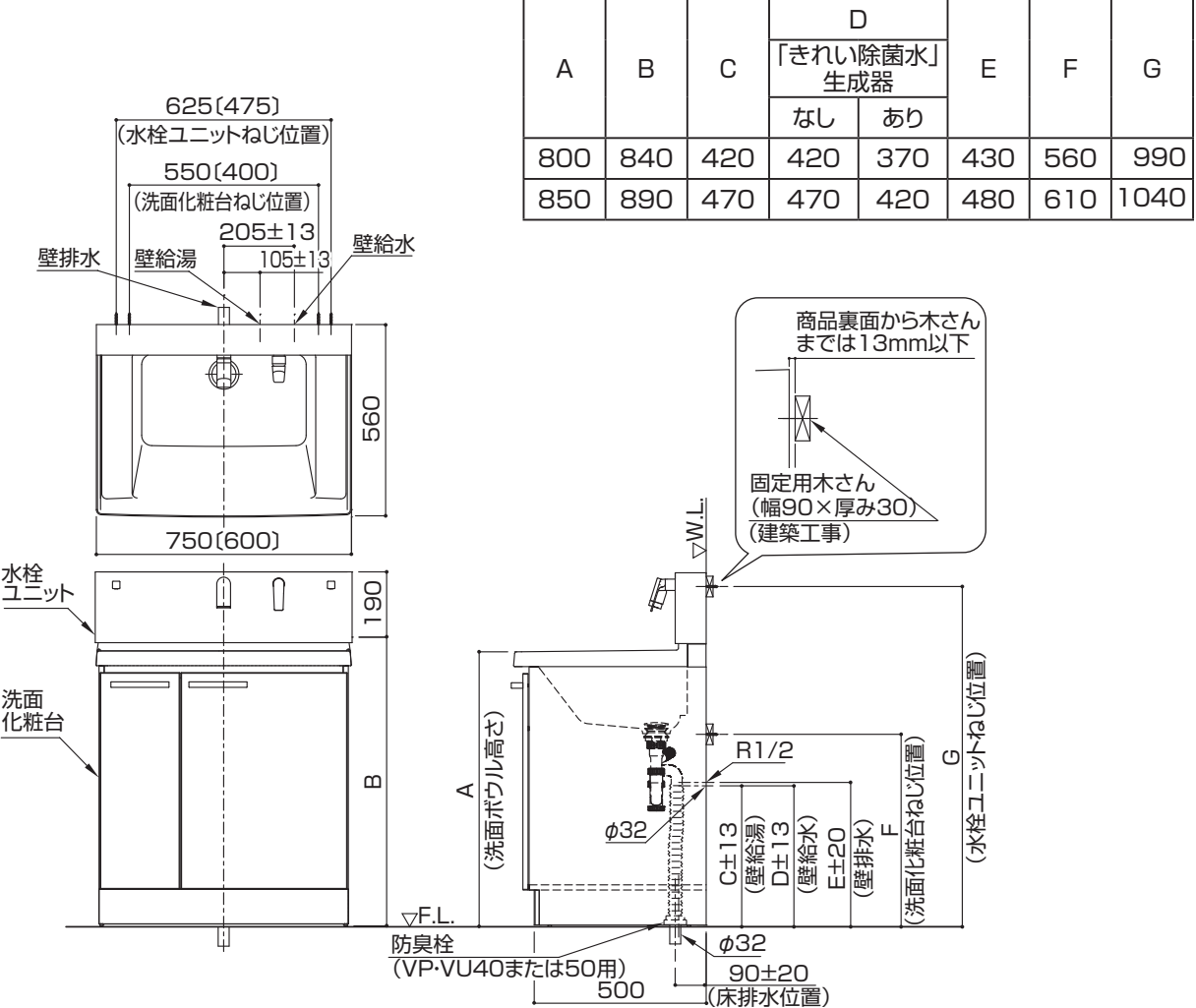
- 市販のジャバラ管トラップは使用しない
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。
- 洗面ボウルに熱湯を注がない
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。
- 凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。
- 取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

2. 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
※フットスイッチを取り付ける場合も、止水栓の床からの高さ寸法は同一です。（体重計収納とフットスイッチの組み合わせはできません。）
- 壁排水の場合は、壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL095をご購入ください。

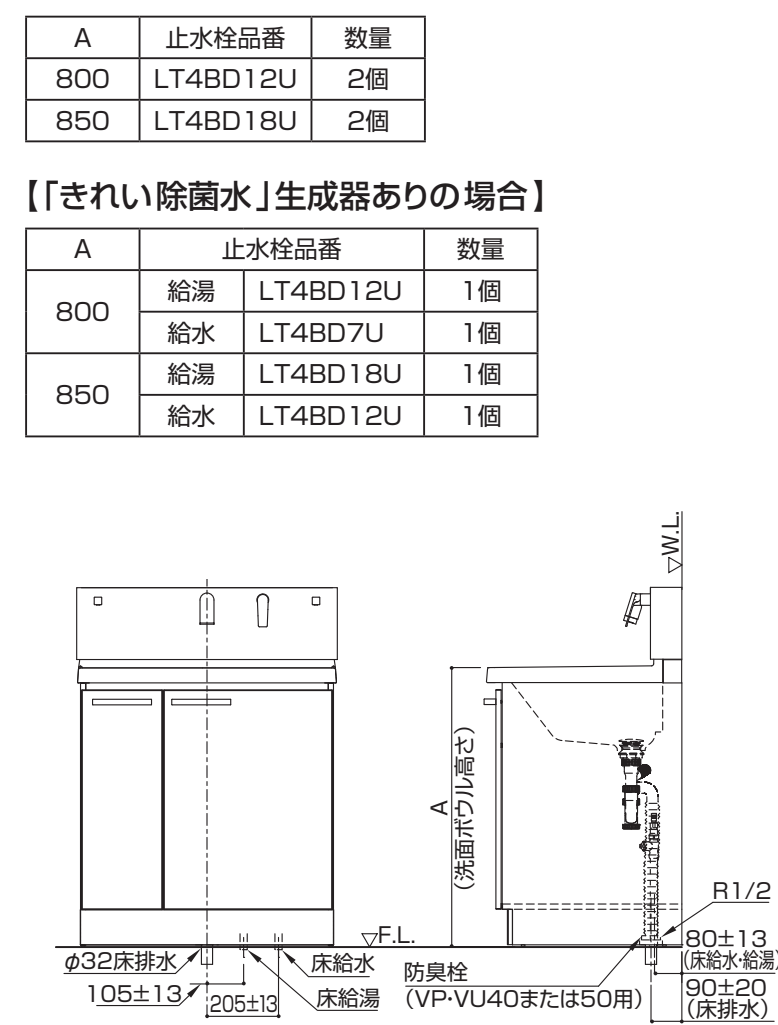
壁給水の場合

- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は右記品番の別売品をご購入ください。
- { } 寸法は600サイズを示します。



床給水・樹脂配管の場合

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は洗面ボウル高さを確認してから下記品番の別売品をご購入ください。



3. 付属部品明細

排水トラップ	付属品			
	壁固定用	給水ふた (めっき管用)	シーリング プレート	防臭栓
	座付タッピンねじ (φ5.2×55)			
1セット	2本	2個	1個	1個
	底板固定用	サイドキャップ		取扱説明書 (保証書付)
	トラスタッピンねじ (φ3.5×12)	左用 	右用 	
1セット	4本	1個	1個	1冊

※ 水栓ユニットの付属部品は、水栓ユニットの施工説明書をご参照ください。

4. 使用条件

- 水栓金具の使用条件は水栓ユニットに付属の施工説明書を参照する

5. 取り付け条件



必ず実行

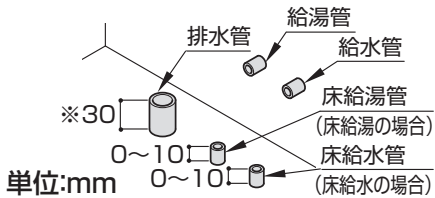
警告

- **キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる**
※ 木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)
- **コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引き抜き強度：1,000N以上／本)を打ち込んでおく**
- **プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する**
※ プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

- 洗面化粧台を取り付ける床面および壁面はクロス貼りなどの仕上げを施す
- 給水管を所定の位置に取り出す
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げる(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50を使用する)

※ 排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコン系シール材(現場調達)でシールしてください。



※ 電気温水器をセットする場合は、50mmで立ち上げてください。

6. 洗面化粧台を取り付ける前に

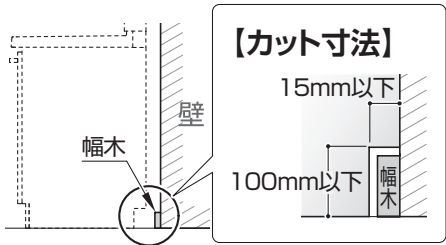
確認1 体重計収納付きですか？

➡ 洗面化粧台を設置する前に取り付けてください。

参照 体重計収納の組立・設置説明書

確認2 壁に幅木はありますか？

➡ 壁に幅木があり、洗面化粧台をそのまま設置できない場合、右図寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。



確認3 「きれい除菌水」生成器・魔法びん電気即湯器・フットスイッチユニットを取り付けますか？

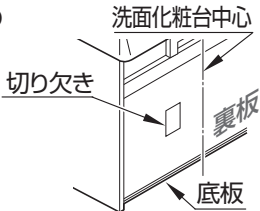
➡ 取り付ける場合は、裏板を切り欠いてください。

※ 壁付コンセントの位置を確認した後、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。

※ 魔法びん電気即湯器を取り付ける場合は、アースターミナル付きコンセントが必要です。

➡ 取り付け要領を確認してください。

参照 各商品に付属の施工説明書



確認4 洗面化粧台用エンドスペーサー(LEWB 030GDN型)を取り付けますか？

➡ 洗面化粧台を設置する前に洗面化粧台用エンドスペーサーを取り付けてください。

参照 洗面化粧台用エンドスペーサーの組立・設置説明書

7. 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

- 荷扱いに注意する
※ ベルトのバックルや時計、指輪等で陶器に傷が付きます。もし傷が付いてしまったら、「蛇口まわりのクリーナー(別売品)」をスポンジなどにつけて、こすってください。
- 洗面化粧台をひきずらない

1 キャビネットの引き出しを外す

引き出しを取り外す

- 取り付け完了後、元に戻す 参照 「8. 取り付け完了後の確認と清掃」

2 給・排水穴の穴あけ

給水・排水の位置に合わせて洗面化粧台に給水穴・給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけする

電気温水器を取り付ける場合

※ 給湯用の穴あけは不要です。

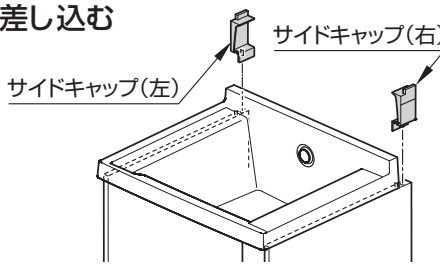
- 排水穴の穴あけ要領は、電気温水器に付属の施工説明書を参照する

3 サイドキャップの取り付け

側板木口に開いている穴にサイドキャップを差し込む

※ サイドキャップの取り付けは、洗面化粧台を壁固定する前に行ってください。

※ サイドキャップの方向に注意してください。



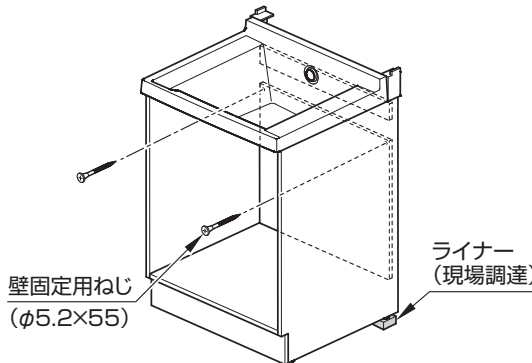
4 洗面化粧台の取り付け

付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定する

重要

商品は水平・垂直に取り付ける

※ 床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。



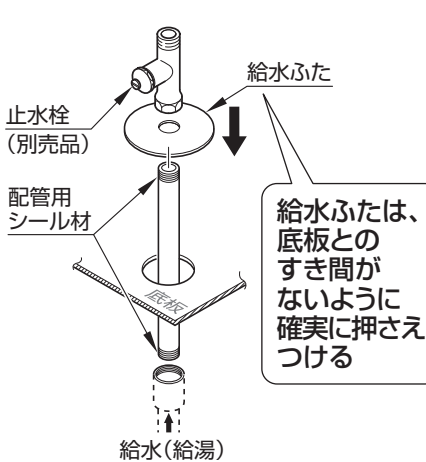
裏面に続く ➡

5 止水栓の取り付け

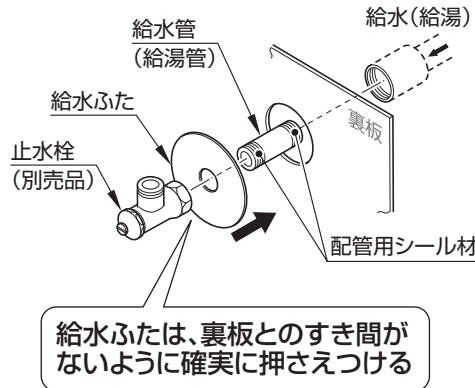
- 止水栓は工具で確実に締め付ける
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書を参照する

床給水の場合

※止水栓は洗面ボウル高さを確認して指定の止水栓を使用してください。



壁給水の場合



6 水栓ユニットの取り付け

- 取り付けについては、水栓ユニットに付属の施工説明書を参照する

「きれい除菌水」生成器をセットする場合

- 取り付けについては、「きれい除菌水」生成器に付属の施工説明書を参照する

7 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓ユニットに付属の施工説明書に従い接続する

「きれい除菌水」生成器をセットする場合

- 給水の接続は、「きれい除菌水」生成器に付属の施工説明書に従い接続する

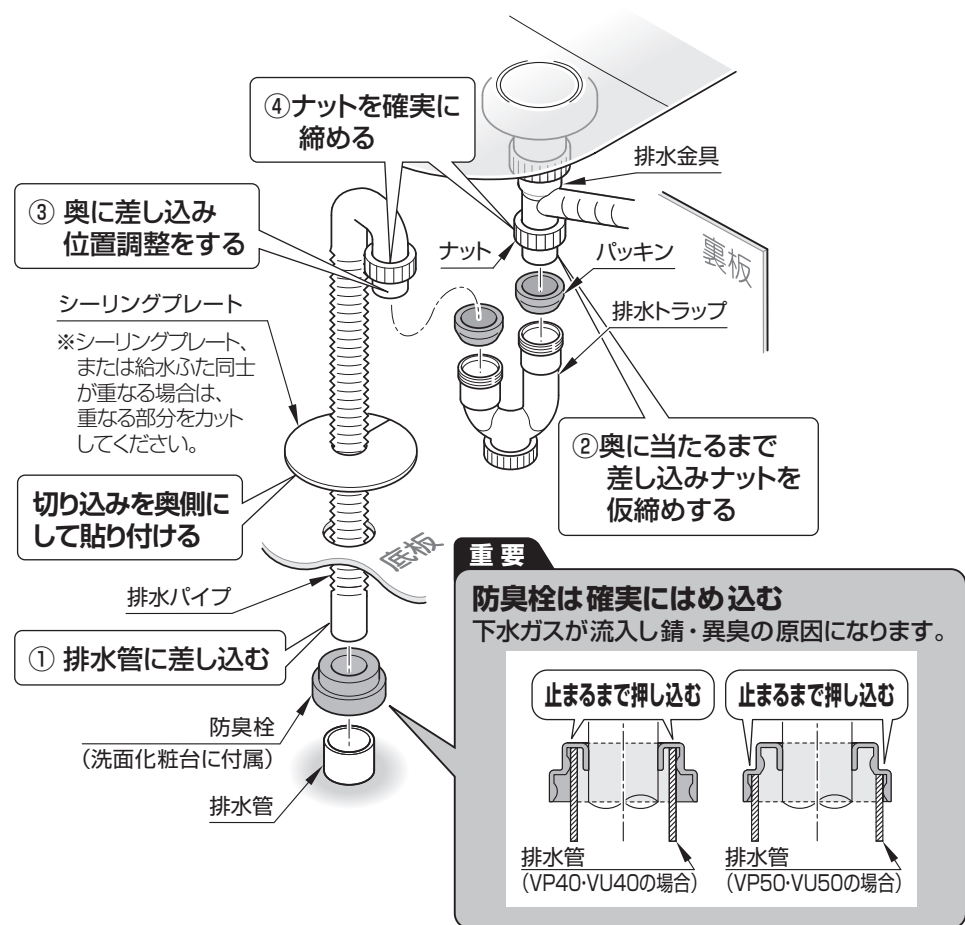
8 排水トラップの取り付け

⚠ 注意

- パッキンの方向に注意する**
※パッキンは下図の位置に取り付けてください。

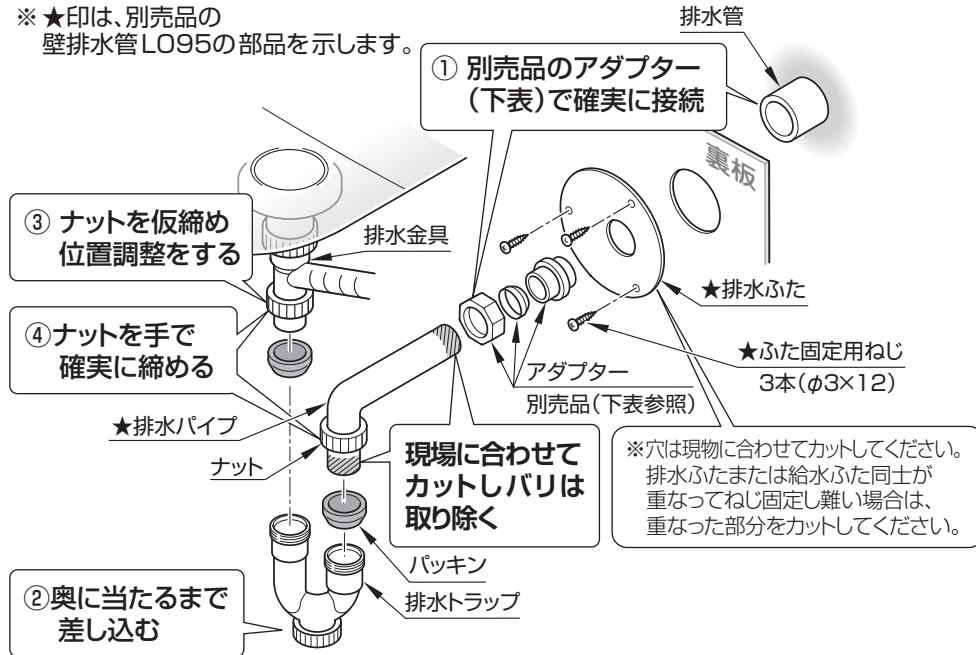
ナット
パッキン
排水パイプ
排水トラップ
30mm以上
：パッキン
- ナットは工具を使用せず手で確実に締め付ける**
- 排水パイプに無理な力が加わらないように取り付ける**
水漏れの原因になります。
- 排水パイプは必要に応じてカットし排水管差し込みしろは、35mm以上確保する**
カット

床排水の場合



壁排水の場合

※★印は、別売品の壁排水管LO95の部品を示します。

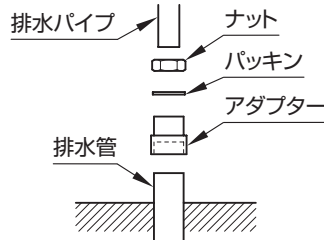


アダプター接続の場合

- 排水パイプは別売品のLO157を使用する
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター (下表) で確実に接続する

アダプターの種類	サイズ
T1122R (銅管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用

※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。



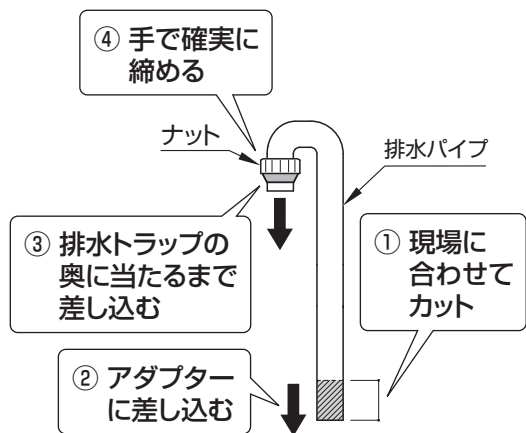
⚠ 注意

！ 必ず実行
接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみの塗布した場合、水漏れの原因になります。

〈T1122J使用時の取り付け〉

⚠ 注意

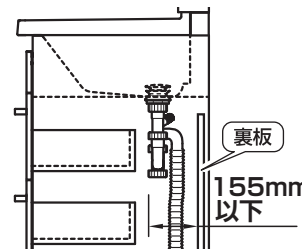
！ 禁止
工具は使用しない
水漏れの原因になります。



- 排水トラップを設置したあとは、下図の範囲に納まっているか確認する

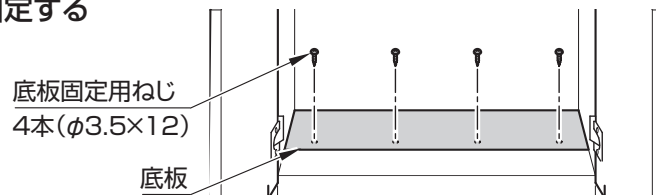
⚠ 注意

！ 必ず実行
排水トラップを右図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する
水漏れの原因になります。



9 底板の固定

底板をねじで固定する



8. 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

1 扉の調整

⚠ 注意



電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。



調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する扉が外れて、けがをするおそれがあります。

〈前後のずれ〉

固定ねじで調整

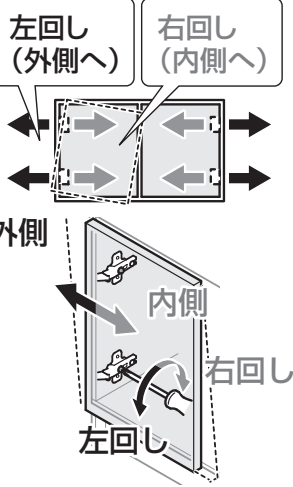
- ② 扉を動かして調整
- ① ねじをゆるめる
- ③ ねじを締める



〈左右のずれ〉

調整ねじで調整

※ねじを回すと、扉が左右に動きます。



2 引き出しの調整

⚠ 注意



ギャラリバー部分を持たない

ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

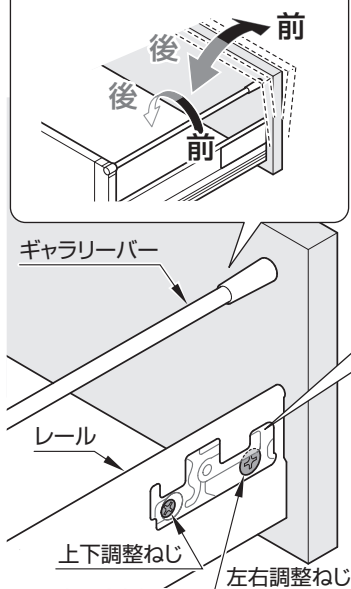


取り付けたあと、必ず2〜3回開閉して確実に取り付けられているか確認する確実に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

2段引き出しタイプ

〈前後のずれ〉

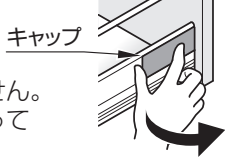
ギャラリバーで調整



① キャップを取り外す

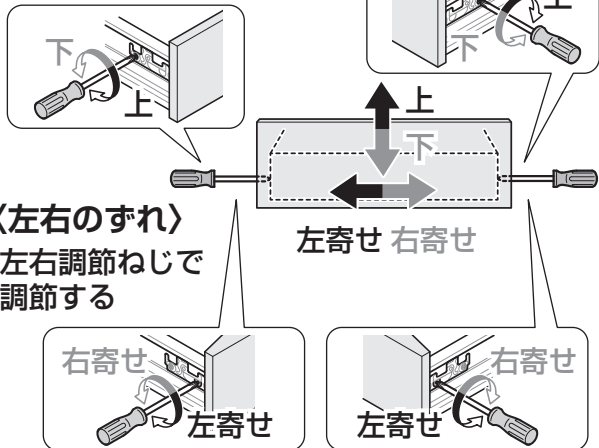
② 上下・左右調整ねじで調整

※片側だけの調整では動きません。必ず両側のねじで調整を行ってください。



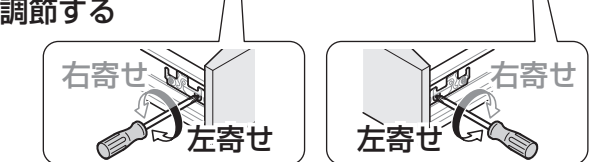
〈上下のずれ〉

上下調節ねじで調節する



〈左右のずれ〉

左右調節ねじで調節する

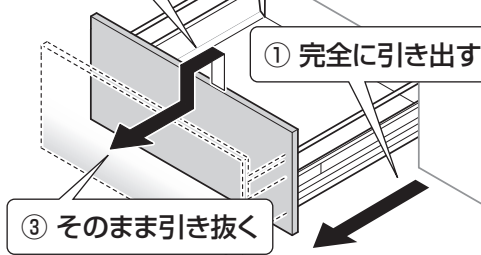


〈取り外しかた〉

② 手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす

① 完全に引き出す

③ そのまま引き抜く

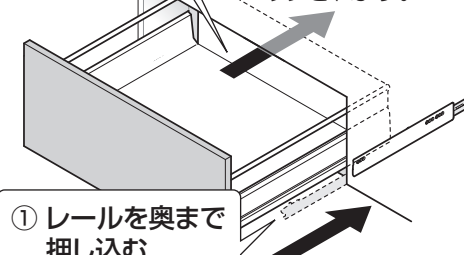


〈取り付けかた〉

② 引き出しをレールの上に置き、そのまま押し込む

※「カチャ」と音がして、ロックされます。

① レールを奥まで押し込む



片引き出しタイプ

⚠ 注意

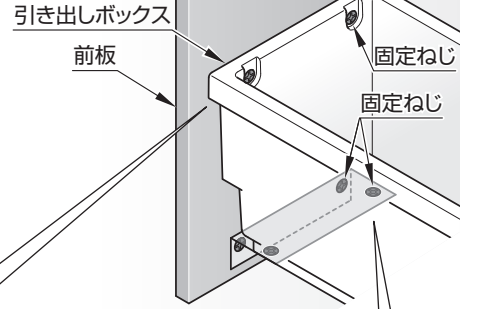
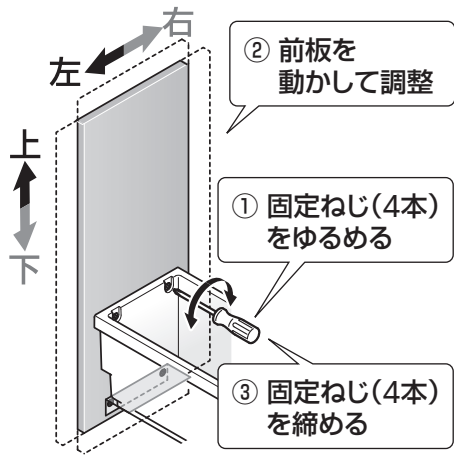


調整後は必ず、固定ねじを締め付ける

引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

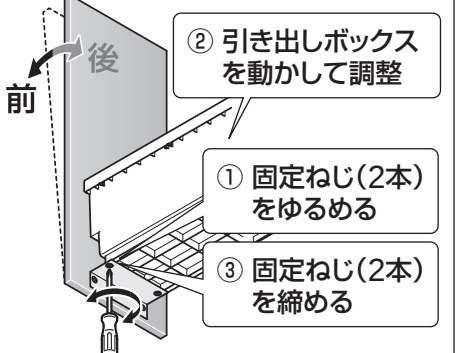
〈上下・左右のずれ〉

前板に固定されている固定ねじ(4本)で調整



〈前後のずれ〉

引き出しボックスで調整



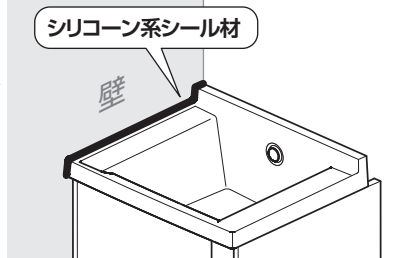
3 清掃・その他

- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認する
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取るその後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきする

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しない

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮る
- 扉・前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがす
- 2段引き出しタイプの場合、給水・給湯ホースと引き出しが干渉しないことを確認する※引き出しが閉まらない、給水・給湯ホースが傷つく原因になります。干渉する場合は、ホースのたるみがないように調整する
- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認する
- 現場判断で洗面ボウルと壁とのすき間を埋める場合は、シリコン系シーリング材(現場調達)を使用する



9. 寒冷地用の水抜き方法

※ 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

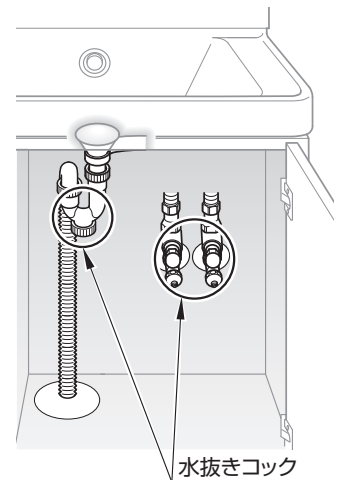
- 水栓金具・「きれい除菌水」生成器の水抜きについては、付属の施工説明書を参照する
- あらかじめ洗面化粧台の内部から引き出しや収納物を取り出す

⚠ 注意



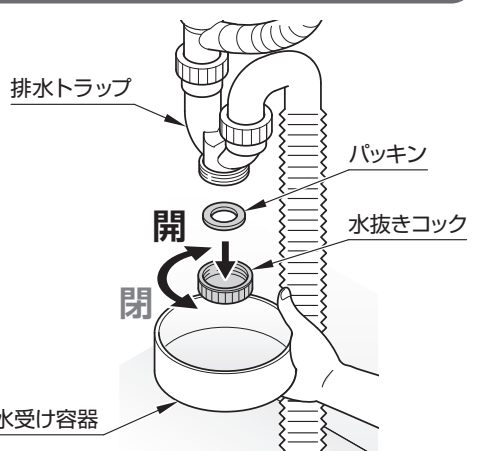
凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをするお客様にも水抜き方法をご指導ください。

● 水抜きコックは工具を使用せず手で確実に締め付ける水漏れの原因になります。



排水トラップの場合

- ① 水受け容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開ける
- ② 水抜き後、水抜きコックを閉じる



⚠ 注意



水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない水漏れの原因になります。